護國女太平記

二

護國世年記巻之二

同様

一 智積院殿高房御国元年

附 柳沢源之弟牧野八十六年

一 柳沢源之弟初代四郎増の年

附 世房分花籠敵一の年

天文かゝりて征夷三年丙申の御
誕生なれハ正親町院の御宇と
ありけるものゝしるしとぞ申すよ正
親町院正親町院三年のはるそ
三月かり早乙女付てみまし
丙ハ中大陽かり家康公宮の
産屋の十二支強く肌丈夫の八年
かしてかずとゝもに島のおとと

あまりのかく年から爲の
西尾大君めして天下泰平御
寿命下元長久ならん一家の御度
御聴御拝しにハ神社会所
へしやうらずそ信長とひよろ
およひ御同家茂ありて鉄棒
信卿よ御信卿の年すれなて
平是石坊すれけれハ頃三十房五て